学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸　術	音楽Ⅰ	2	1	なし

使用教科書	副読本等
MOUSA(ムーサ)　1	New Music Note

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
楽譜等の費用として４０００円		選択					○	

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。学習の到達度は、授業ノートやワークシートの提出、実技テストで評価します。音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値のあるものとなり、そうして感性が豊かになります。音楽が,生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２．学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：音楽への関心・意欲・態度	ｂ：音楽表現の創意工夫	ｃ：音楽表現の技能	ｄ：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察、授業ノート	観察、授業ノート	演奏の聴取	観察、ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	イメージをもって豊かな声で歌い上げよう！～出会いの歌	校歌	○	○	○		a.歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている b.音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	ギターに挑戦しよう	木星	○		○		a.ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 c.TAB譜の読み方など基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	
5月 下旬 ～ 7月	ラテン音楽に親しみアンサンブルをしよう	ブラジル	○		○		a.サンバの仕組み、楽器の役割を意識しながら表現を工夫してアンサンブルをする学習に主体的に取り組もうとしている。 c.サンバで使われる楽器の奏法の技能を身に付け、共通のイメージを持ちながら各パートの役割や全体の調和を意識して創造的に表現している。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	ミュージカル・ナンバーを鑑賞しよう	ミュージカル 「キャッツ」	○			○	a.ミュージカルの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d.音楽的な要素とそれ以外の要素との関わりを感じ取り、ミュージカルや映画のよさや楽しさを創造的に味わって聴いている。	観察 授業ノート
8月 下旬 ～ 10月 上旬	独唱に挑戦しよう	ハイデン・レースライン（シューベルト）	○	○	○		a.曲想と文化的、歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.旋律、リズム、速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	ポピュラー音楽を歌おう	ひまわりの約束	○	○	○		a.曲想と歌詞が表す情景や心情の関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.曲想と歌詞が表す情景や心情の関わりに理解し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	
10月 中旬 ～ 12月	表現を工夫しながらリコーダーを演奏しよう	見上げてごらん夜の星を	○		○		a.リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c.リコーダーの音色や奏法の特徴、フレーズなどを感じ取り、それらを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	世界の諸民族の音楽に親しもう。	世界の諸民族の音楽に掲載されている音楽（鑑賞）	○			○	a.世界の諸民族の音楽における声や楽器の音色、リズム、旋律、テクスチュアなどの音楽を形作っている要素、奏法などの表現の特徴、それぞれの地域の音楽文化や美意識の共通点や相違点に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d.世界の諸民族の音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴くとともに、言葉や文章を用いた批評活動に生かしている。	

1月 ～ 2月	鑑賞のファーストステップ～音楽を聴く力をつけよう	ボレロ（モーリス・ラベル）	○			○	a.管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d.音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 授業ノート
	ミュージカル・ナンバーを歌おう	オー・ハッピー・デイ	○	○	○		a.曲想と文化的、歴史的背景との関わりに関心を持ち、アンサンブルの学習に主体的に取り組もうとしている。 b.旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージを持ってアンサンブルをするために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 授業ノート 演奏の聴取